

1. 構造名

化粧スラグせっこう板張／木製下地軒裏

2. 仕様の寸法：

仕様の寸法を表1に示す。

表1 仕様の寸法

項 目	仕 様
軒の出	186.5～2000mm
軒の幅	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法
軒の形状	勾配又は水平

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 仕様の主構成材料

項 目	仕 様
軒天材	材料：①又は② ①スラグせっこう板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8314) ②化粧スラグせっこう板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8315) 形状： 1) 外形寸法 厚さ：8(-0.4)mm以上 軒の出方向の長さ：2000mm以下(軒の出方向の水平距離) 2) 目地形状：①～⑤の一 ①面取突付け目地 ②突付け目地 ③面取合じゃくり目地 ④合じゃくり目地 ⑤金属ジョイナー目地(形状：T型又はH型) 3) 表面形状：①～④の一 ①平滑 ②エンボス(ただし、最小厚さ8(-0.4)mmを確保) ③平滑・溝加工(ただし、最小厚さ8(-0.4)mmを確保) ④エンボス・溝加工(ただし、最小厚さ8(-0.4)mmを確保) 4) 通気孔：なし 密度：0.90～1.20g/cm ³ 表面塗装：①～⑧の一 ①アクリルウレタン樹脂系塗料 ②アクリル樹脂系塗料 ③ウレタン樹脂系塗料 ④エポキシ樹脂系塗料 ⑤アクリルシリコン樹脂系塗料 ⑥フッ素樹脂系塗料 ⑦無機質系塗料 ①～⑦の塗布量：200g/m ² 以下(有機質固形分量) ⑧なし

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

項目	仕様
野縁	材料：日本農林規格の品質を満足する木材(製材、集成材) 断面寸法：30×35mm以上 取付間隔：軒元又は軒元及び軒先
縦野縁	材料：日本農林規格の品質を満足する木材(製材、集成材) 断面寸法：30×35mm以上 取付間隔：455mm以下
下地材	材料：日本農林規格の品質を満足する木材(製材、集成材) 断面寸法：21×100mm以上
吊り木	材料：①又は② ①なし(軒の出500mm以下の場合) ②日本農林規格の品質を満足する木材(製材、集成材) 断面寸法：30×35mm以上 取付間隔：軒の幅方向910mm以下
金属ジョイナー	材料：①～⑩の一 ①なし ②溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3302) ③塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3312) ④熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 4304) ⑤冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 4305) ⑥溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3317) ⑦塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3318) ⑧溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3321) ⑨塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3322) ⑩塗装/亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8697) 厚さ：0.2mm以上 形状：H形又はT形

つづく

つづき

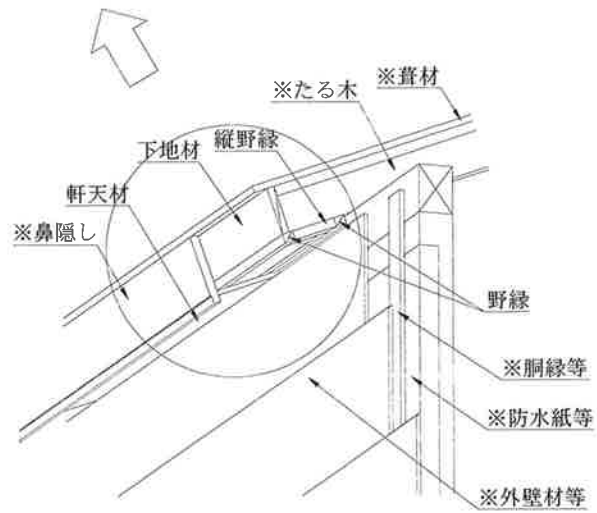
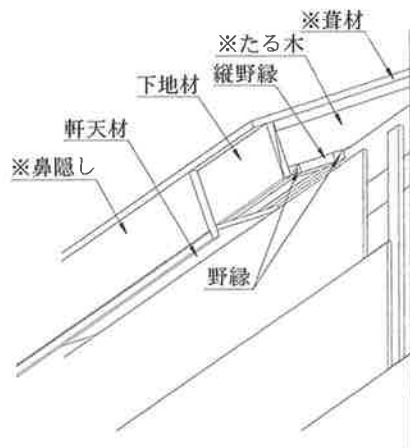
留付材	<p>軒天材固定用： 材料：①又は② ①くぎ 種類：1)、2)又は3) 1) スクリュー 2) リング 3) ストレート 寸法：胴部径φ2.15×長さ38mm以上 ②ねじ 寸法：呼び径φ3.0×長さ38mm以上 材質：a)又はb) a) ステンレス鋼製 b) 鋼製 留付間隔：軒の幅方向220mm以下 軒の出方向193mm以下</p>
	<p>野縁固定用： 材料：①又は② ①くぎ 種類：1)、2)又は3) 1) スクリュー 2) リング 3) ストレート 寸法：胴部径φ2.77×長さ50mm以上 ②ねじ 寸法：呼び径φ3.0×長さ50mm以上 材質：a)又はb) a) ステンレス鋼製 b) 鋼製 留付間隔：軒の幅方向455mm以下</p>
	<p>縦野縁固定用： 材料、材質、留付間隔：野縁固定用留付材と同じ</p>
	<p>下地材固定用： 材料、材質、留付間隔：野縁固定用留付材と同じ 留付本数：2本/箇所</p>
	<p>吊り木固定用(吊り木を使用する場合)： 材料、材質：野縁固定用留付材と同じ 留付間隔：910mm以下</p>

5. 仕様の構造説明図：

仕様の構造説明図を図1～図26に示す。

通気孔なし仕様

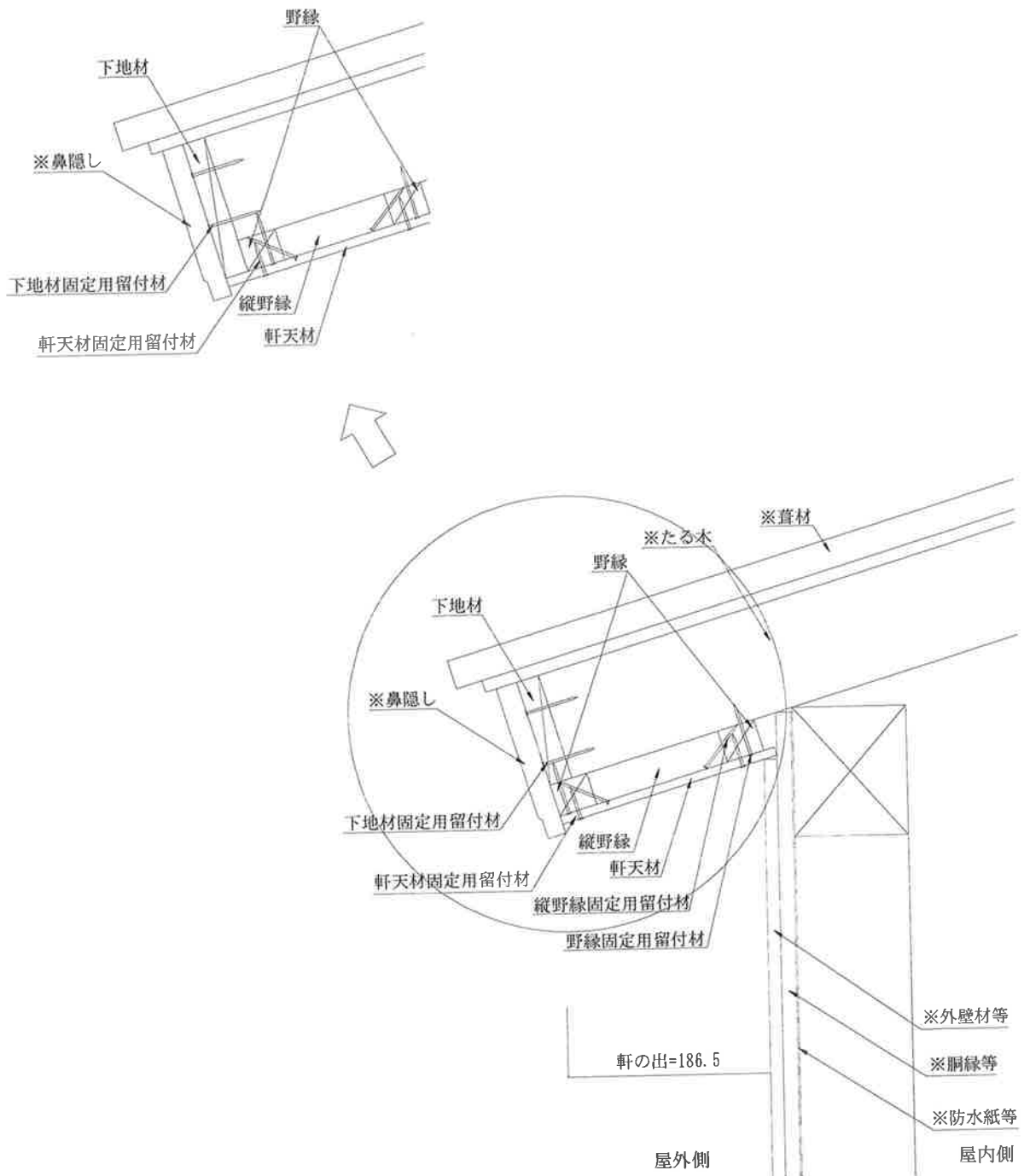
単位mm



※評価対象外

軒の出=186.5
透視図 (勾配仕様)
軒先野縁ありの場合

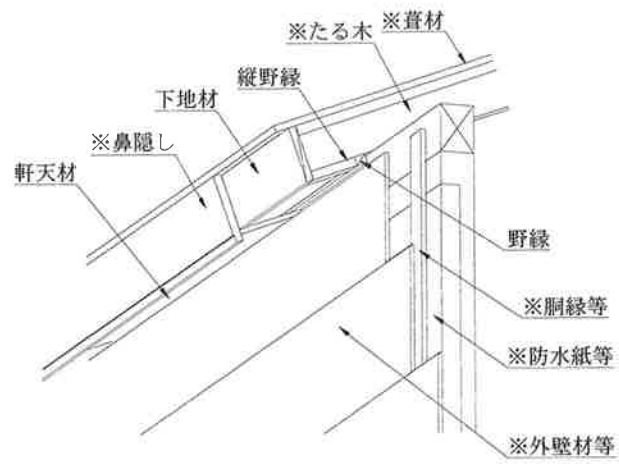
図1 構造説明図



軒の出=186.5
断面図 (勾配仕様)
軒先野縁ありの場合

※評価対象外

図2 構造説明図

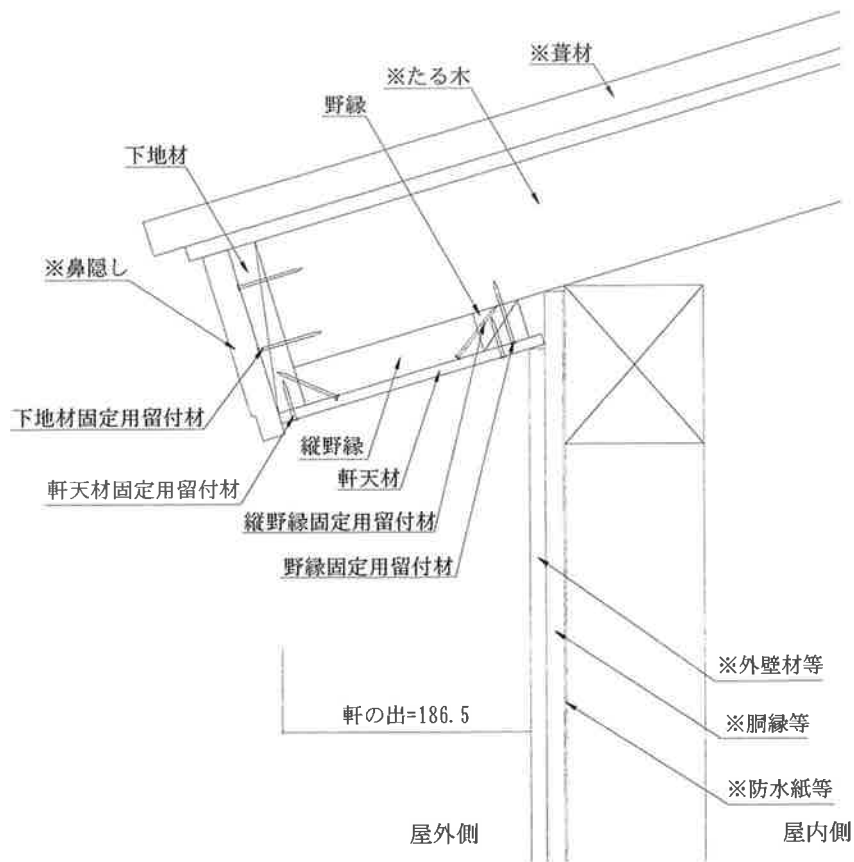


※評価対象外

軒の出=186.5

透視図（勾配仕様）
軒先野縁なしの場合

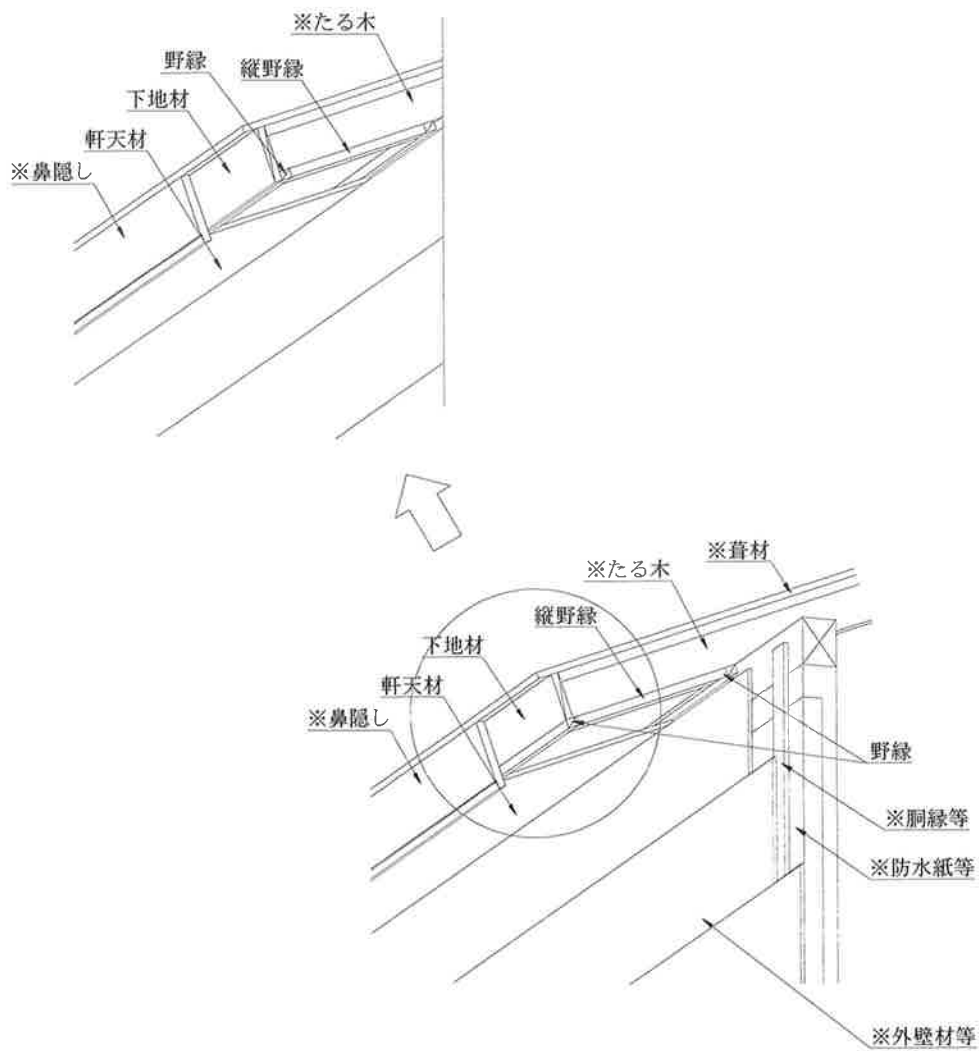
図3 構造説明図



軒の出=186.5
断面図 (勾配仕様)
軒先野縁なしの場合

※評価対象外

図4 構造説明図



※評価対象外

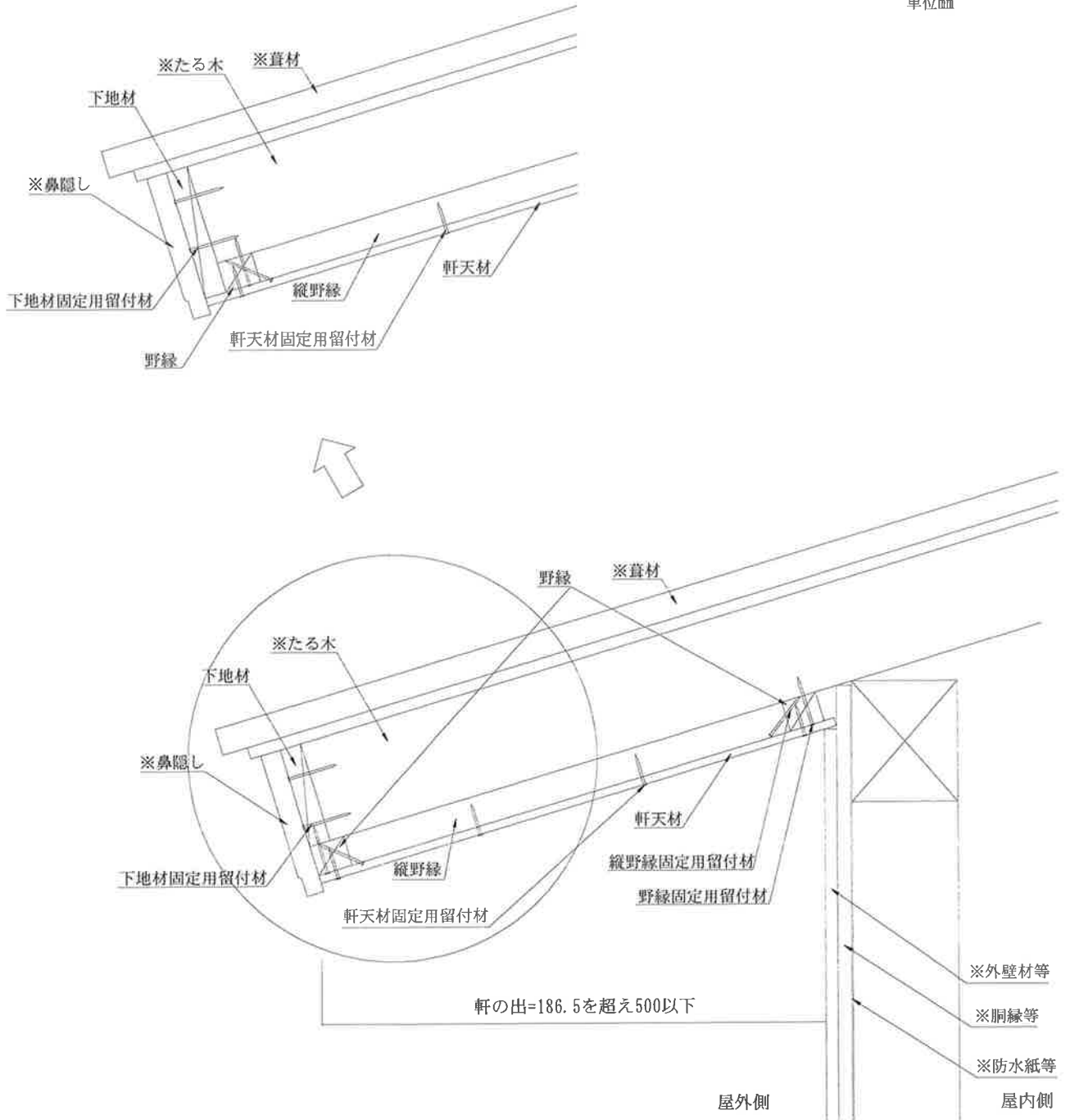
軒の出=186.5を超え500以下

透視図（勾配仕様）

軒先野縁ありの場合

図5 構造説明図

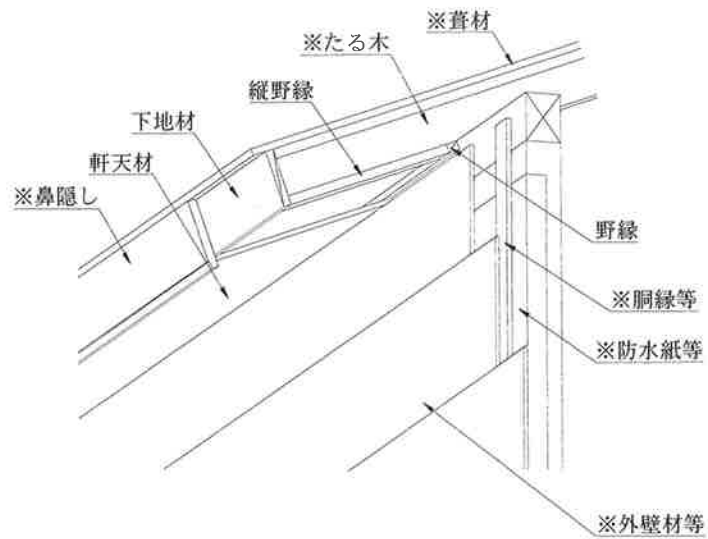
単位mm



軒の出=186.5を超え500以下
断面図(勾配仕様)
軒先野縁ありの場合

※評価対象外

図6 構造説明図

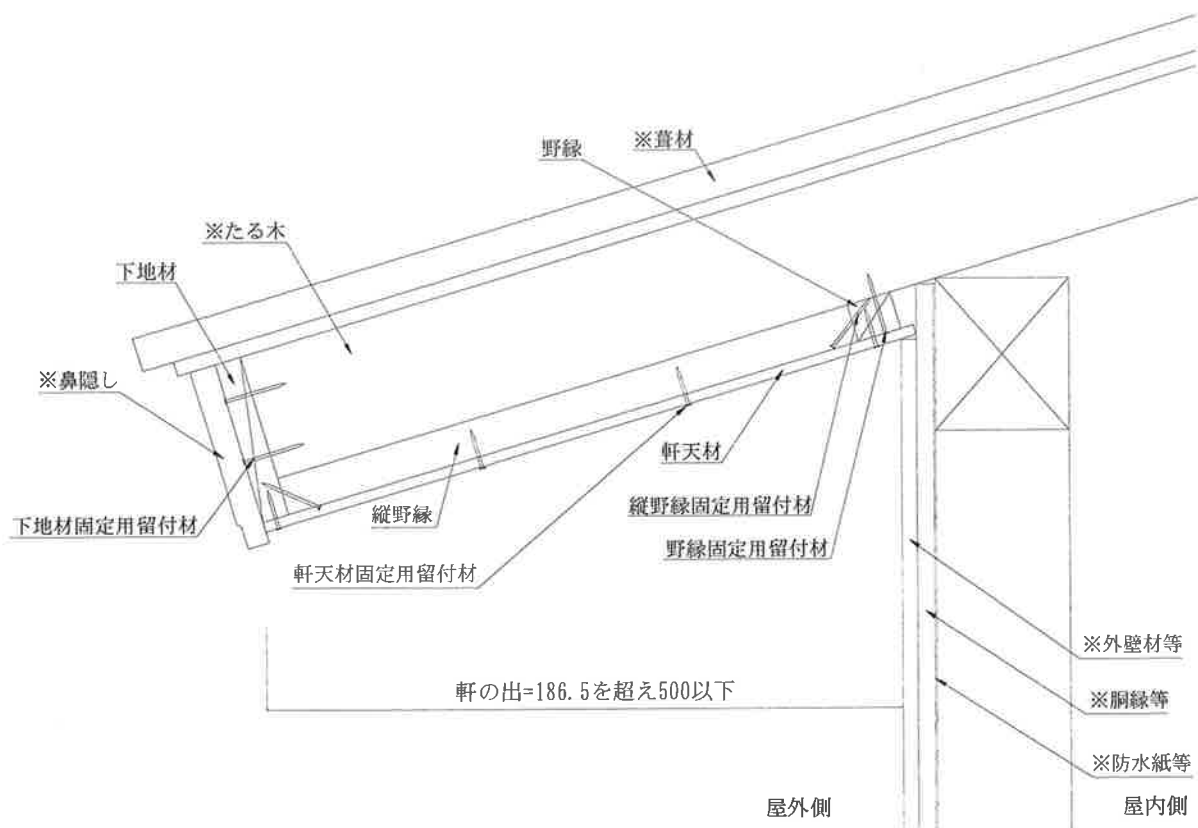


※評価対象外

軒の出=186.5を超え500以下

透視図 (勾配仕様)
軒先野縁なしの場合

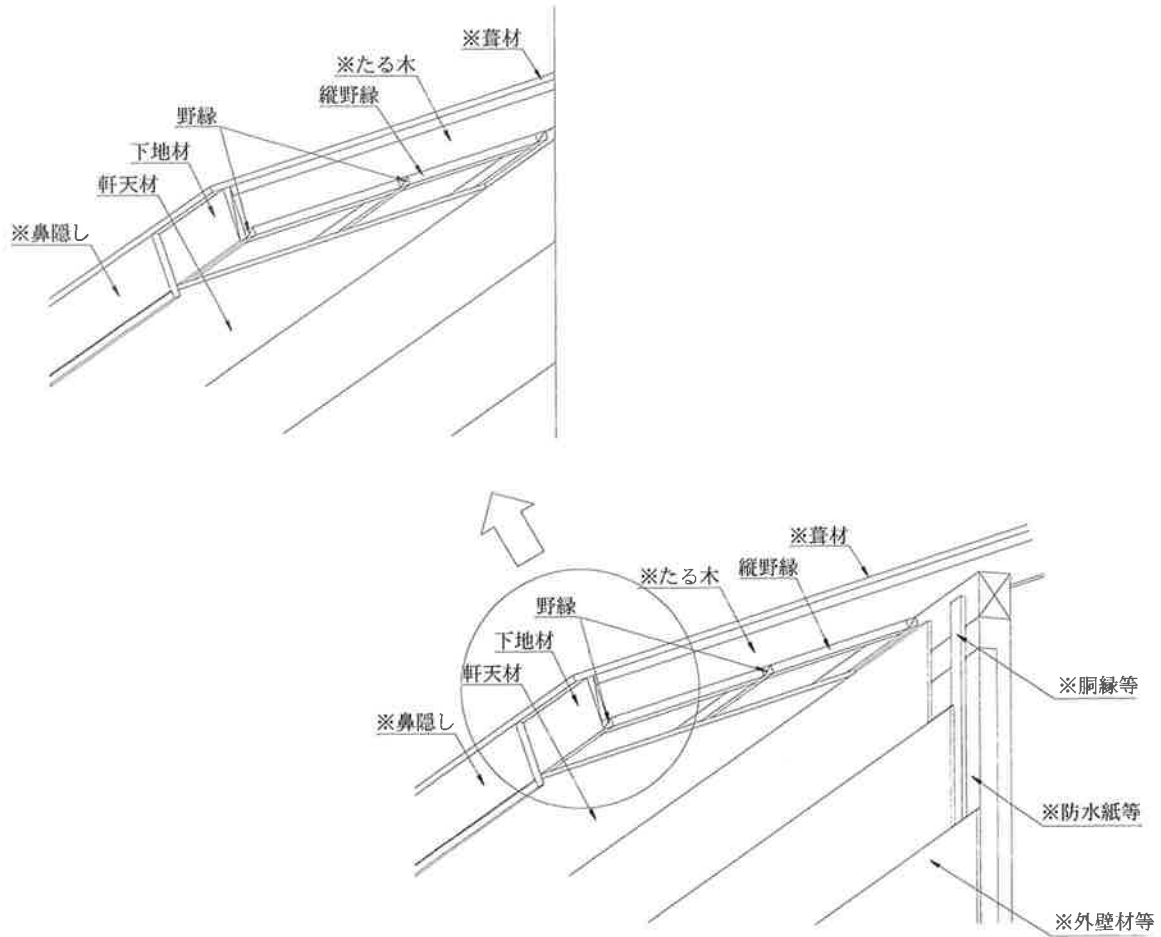
図7 構造説明図



軒の出=186.5を超え500以下
断面図（勾配仕様）
軒先野縁なしの場合

※評価対象外

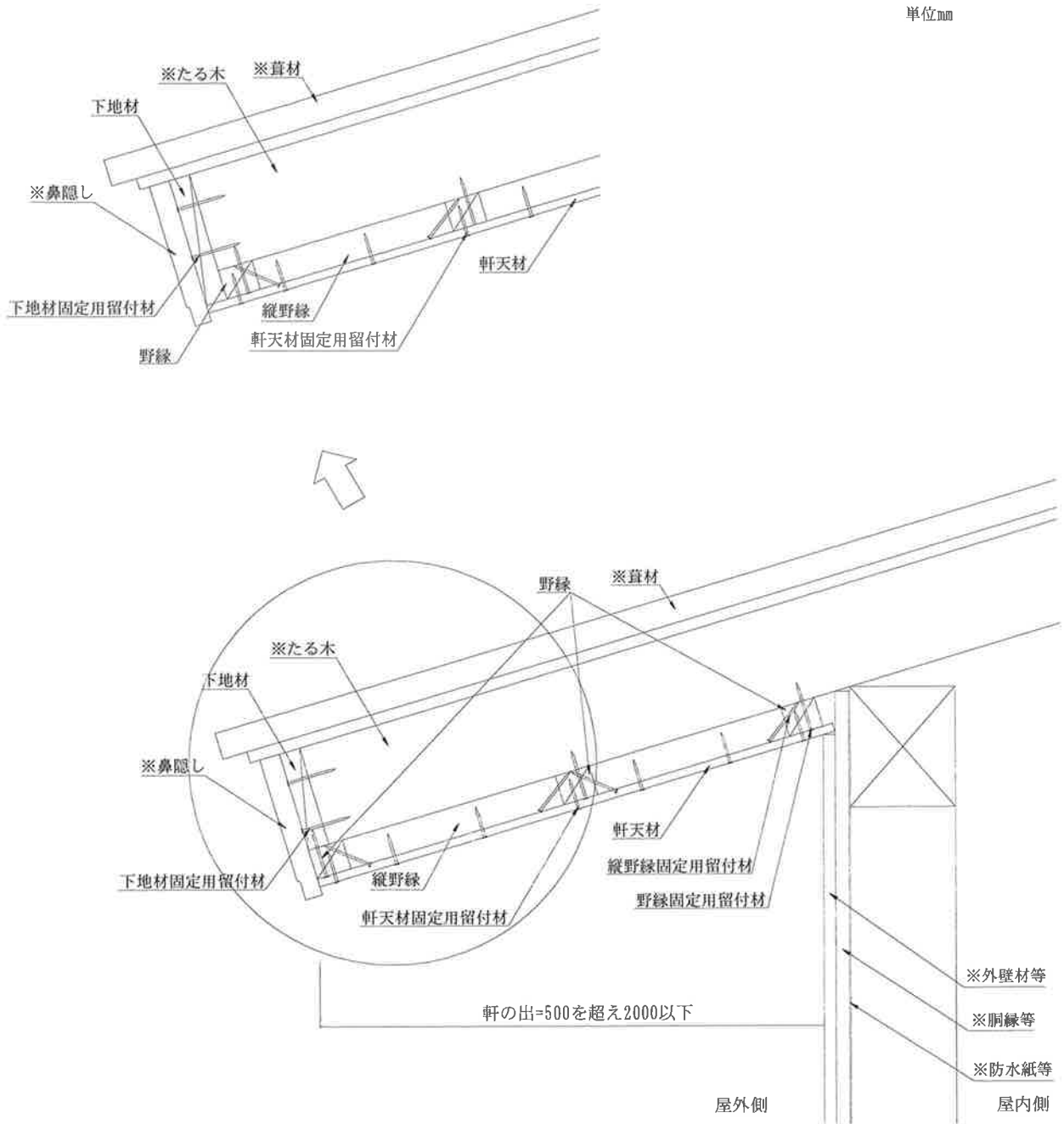
図8 構造説明図



軒の出=500を超え2000以下
透視図（勾配仕様）
軒先野縁ありの場合

図9 構造説明図

単位mm

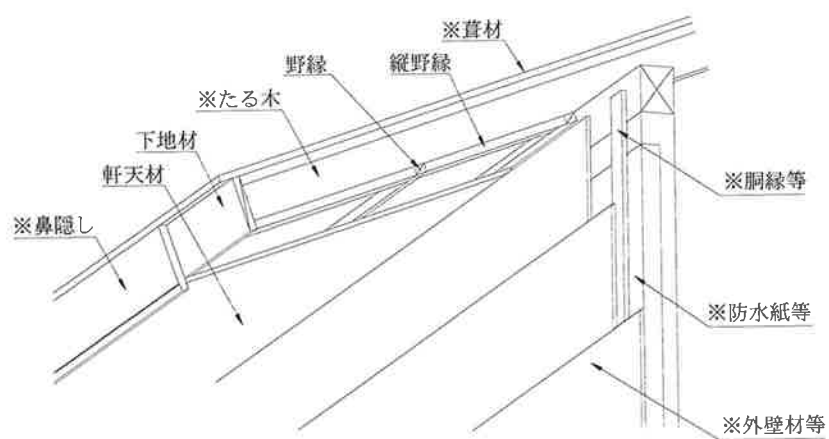


軒の出=500を超え2000以下
断面図（勾配仕様）
軒先野縁ありの場合

※評価対象外

図10 構造説明図

通気孔なし仕様



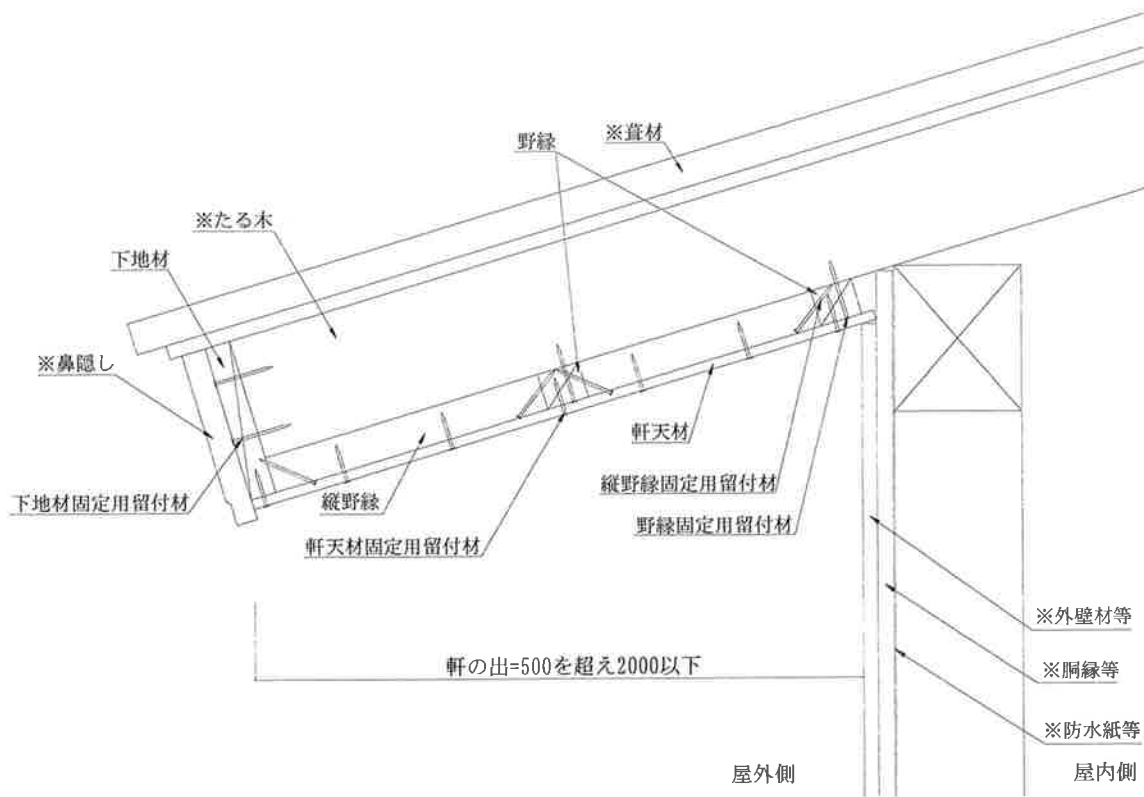
※評価対象外

軒の出=500を超え2000以下

透視図 (勾配仕様)

軒先野縁なしの場合

図 1 1 構造説明図



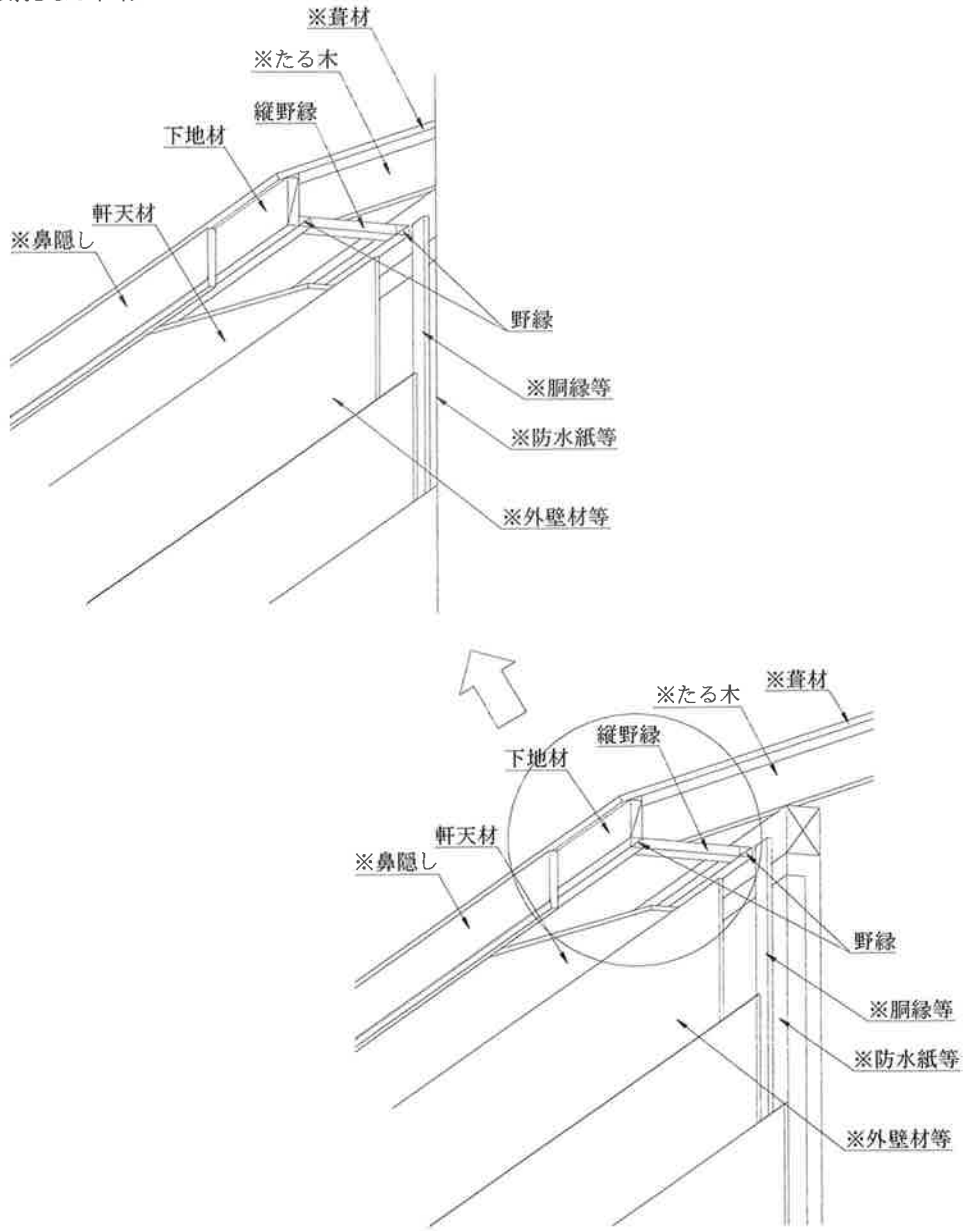
軒の出=500を超え2000以下
断面図（勾配仕様）
軒先野縁なしの場合

※評価対象外

図12 構造説明図

通気孔なし仕様

単位mm

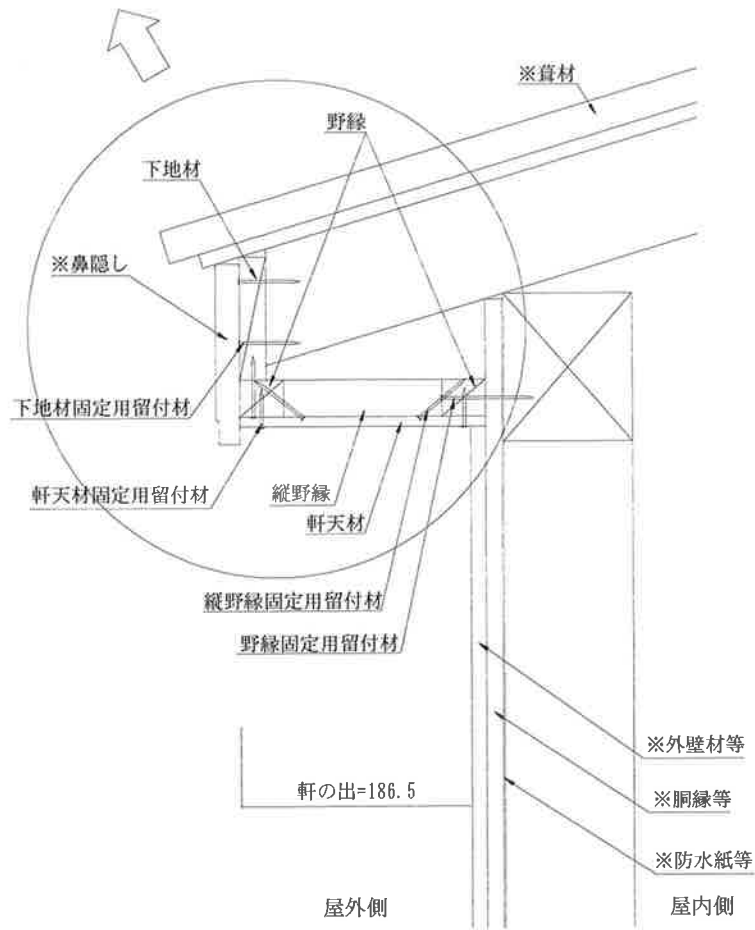
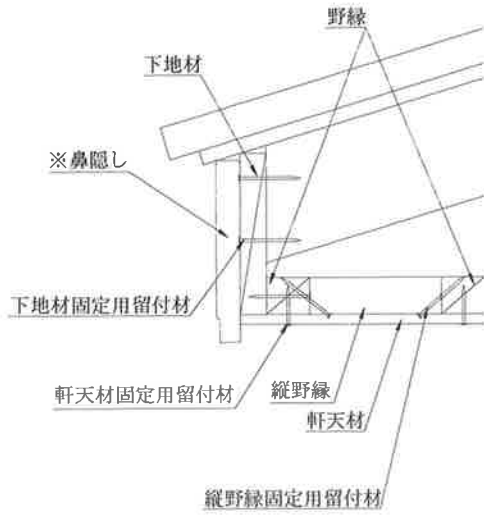


※評価対象外

軒の出=186.5
透視図（水平仕様）
軒先野縁ありの場合

図 1 3 構造説明図

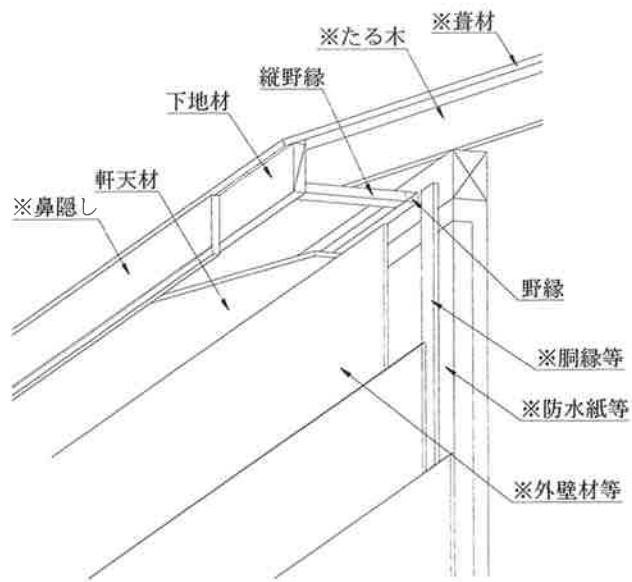
単位mm



軒の出=186.5
断面図（水平仕様）
軒先野縁ありの場合

※評価対象外

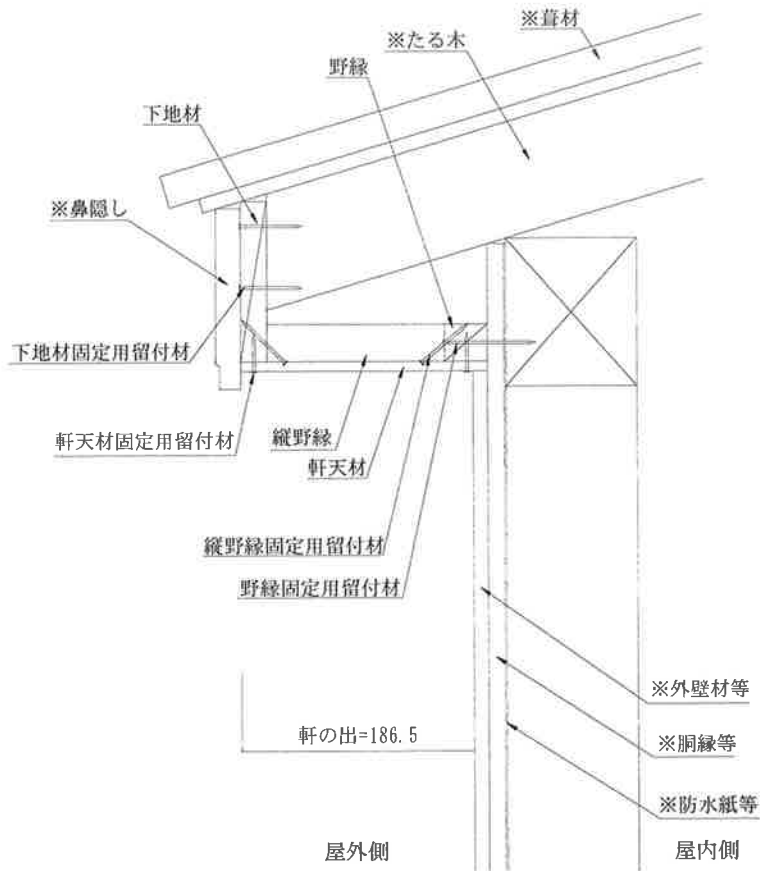
図14 構造説明図



軒の出=186.5

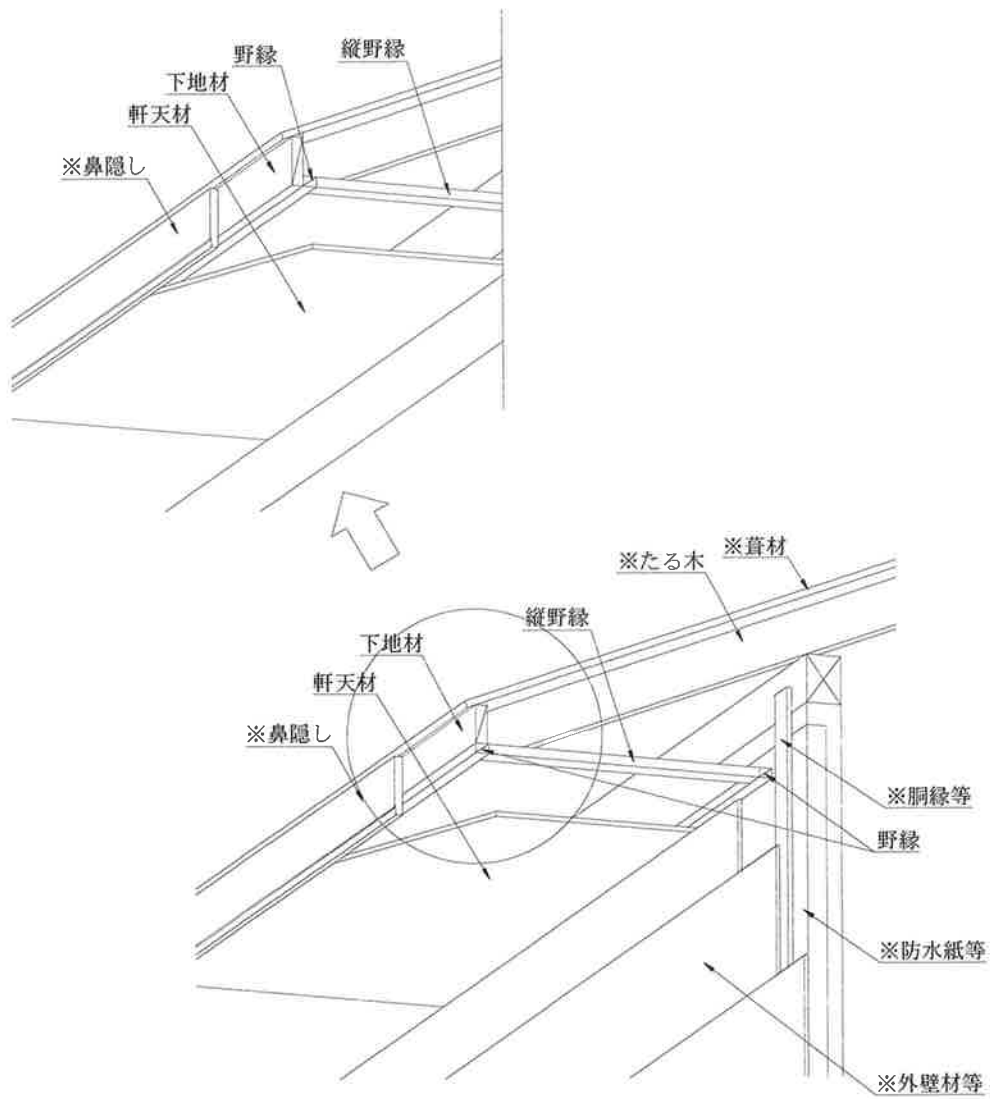
透視図（水平仕様）
軒先野縁なしの場合

図15 構造説明図



軒の出=186.5
断面図 (水平仕様)
軒先野縁なしの場合

図16 構造説明図



※評価対象外

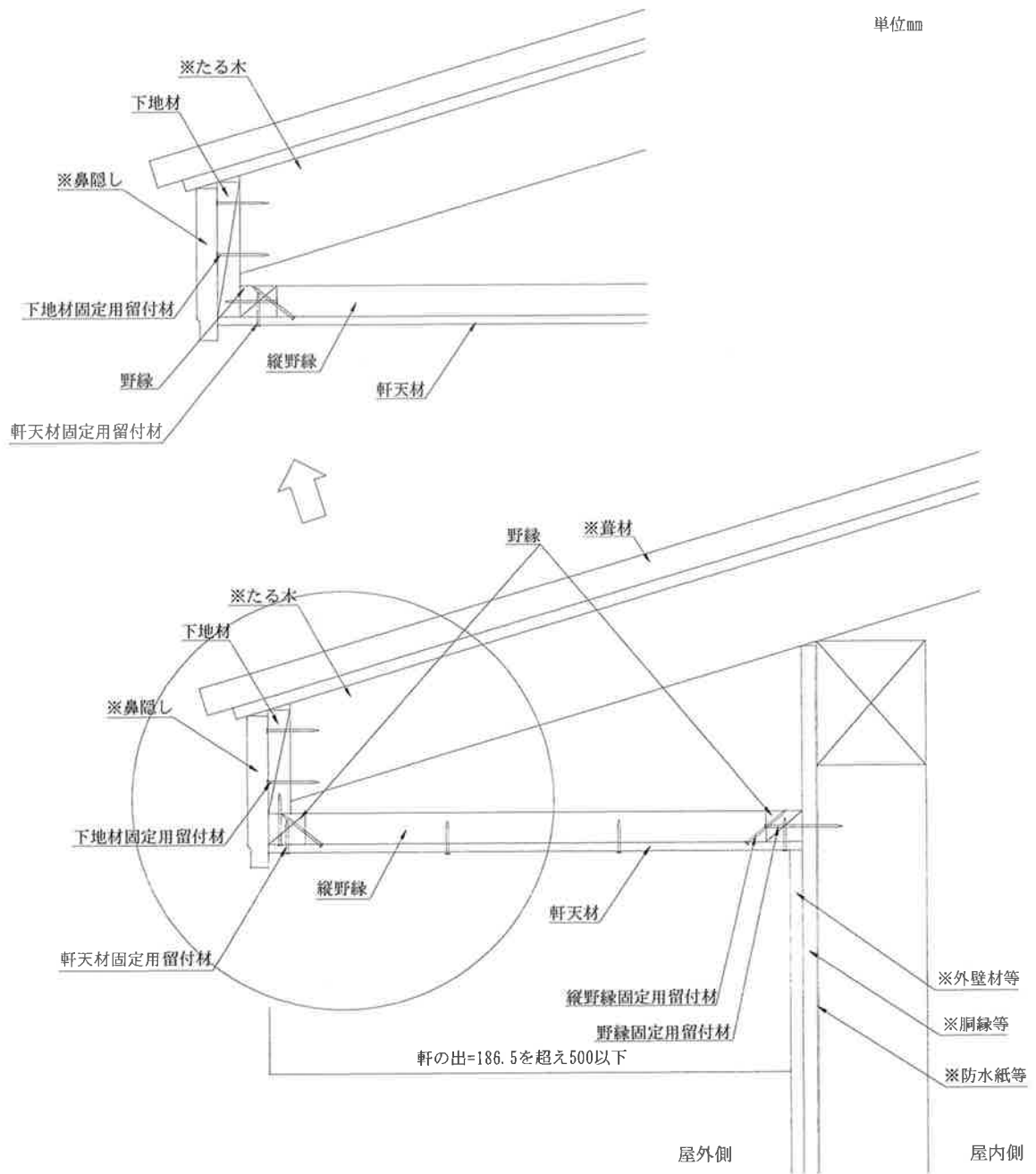
軒の出=186.5を超え500以下

透視図（水平仕様）

軒先野縁ありの場合

図17 構造説明図

単位mm

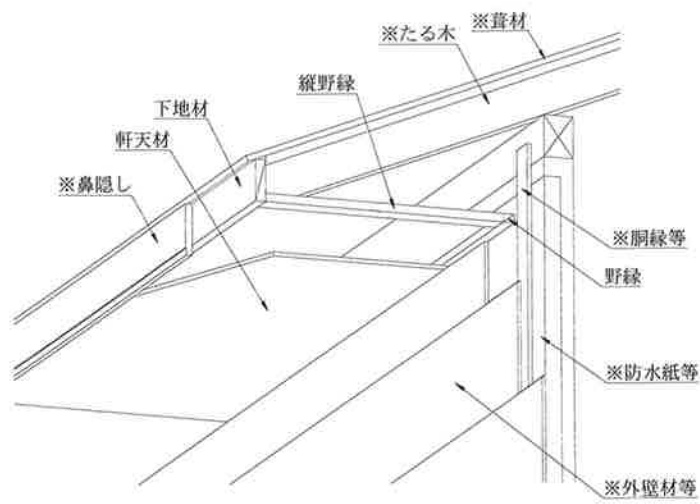


軒の出=186.5を超え500以下
断面図（水平仕様）
軒先野縁ありの場合

※評価対象外

図18 構造説明図

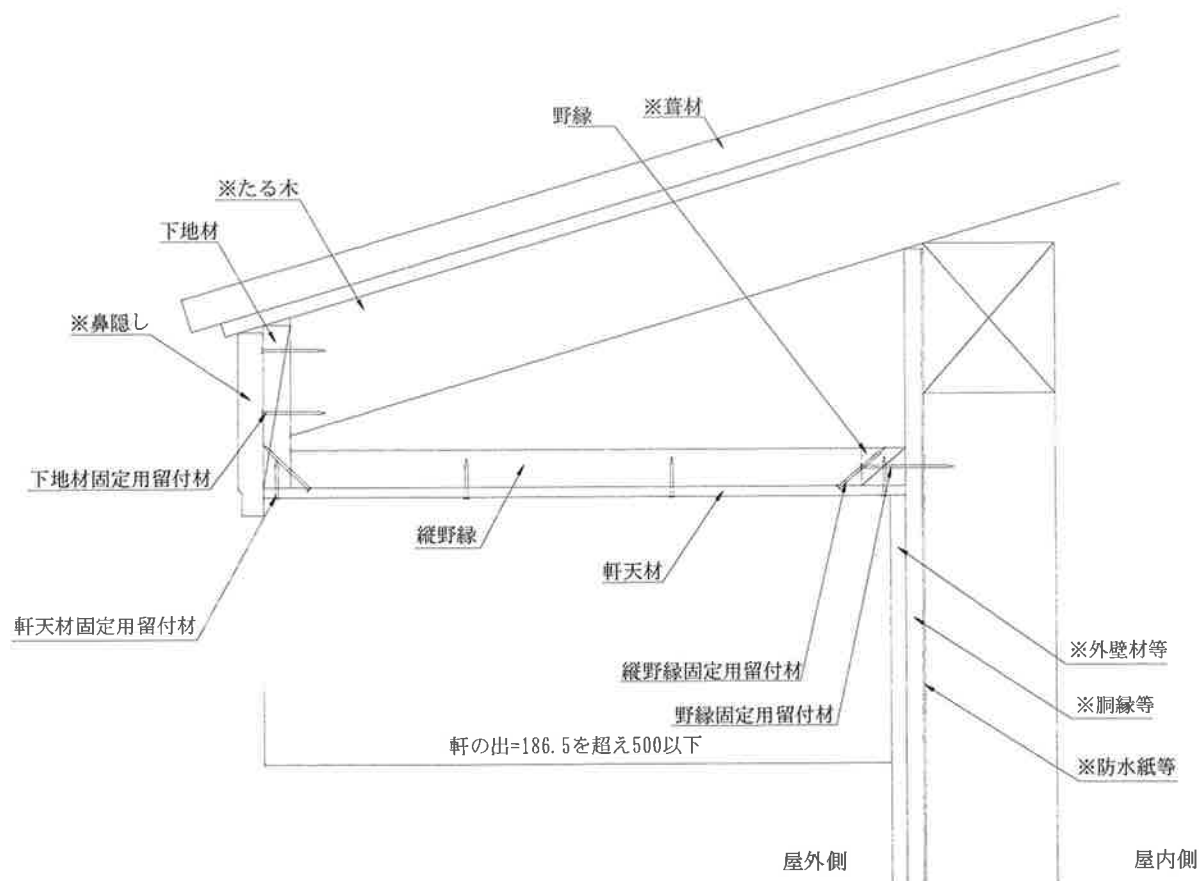
通気孔なし仕様



※評価対象外

軒の出=186.5を超え500以下
透視図（水平仕様）
軒先野縁なしの場合

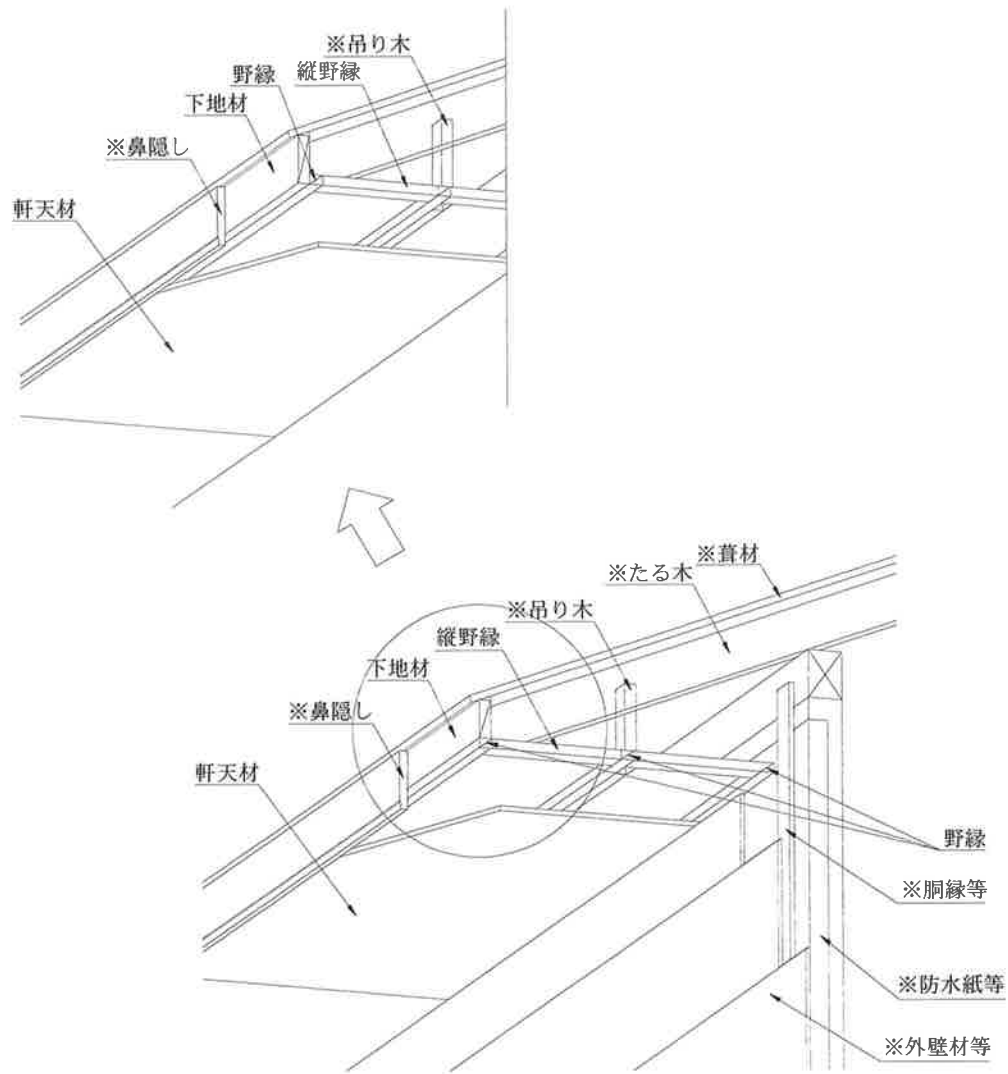
図19 構造説明図



軒の出=186.5を超え500以下
断面図（水平仕様）
軒先野縁なしの場合

※評価対象外

図20 構造説明図



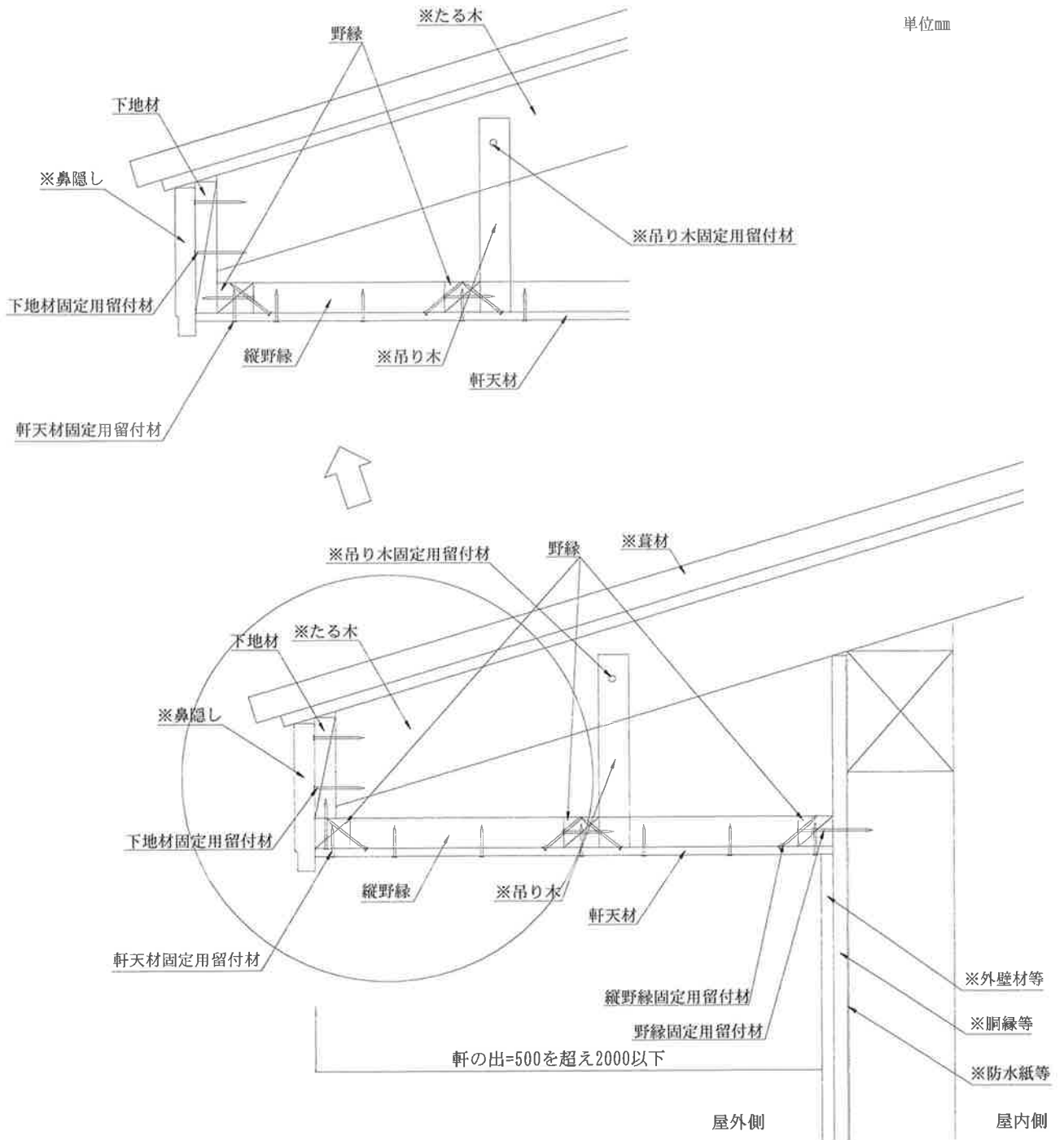
※評価対象外

軒の出=500を超え2000以下

透視図（水平仕様）

軒先野縁ありの場合

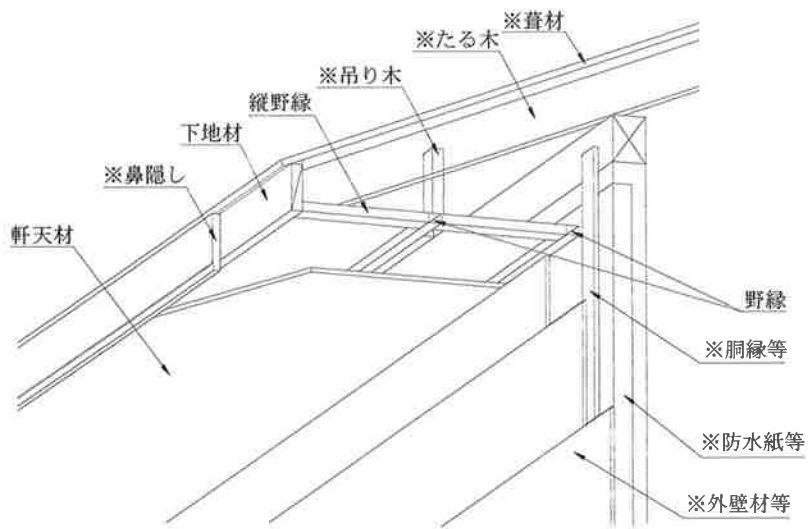
図21 構造説明図



軒の出=500を超え2000以下
 断面図（水平仕様）
 軒先野縁ありの場合

※評価対象外

図22 構造説明図



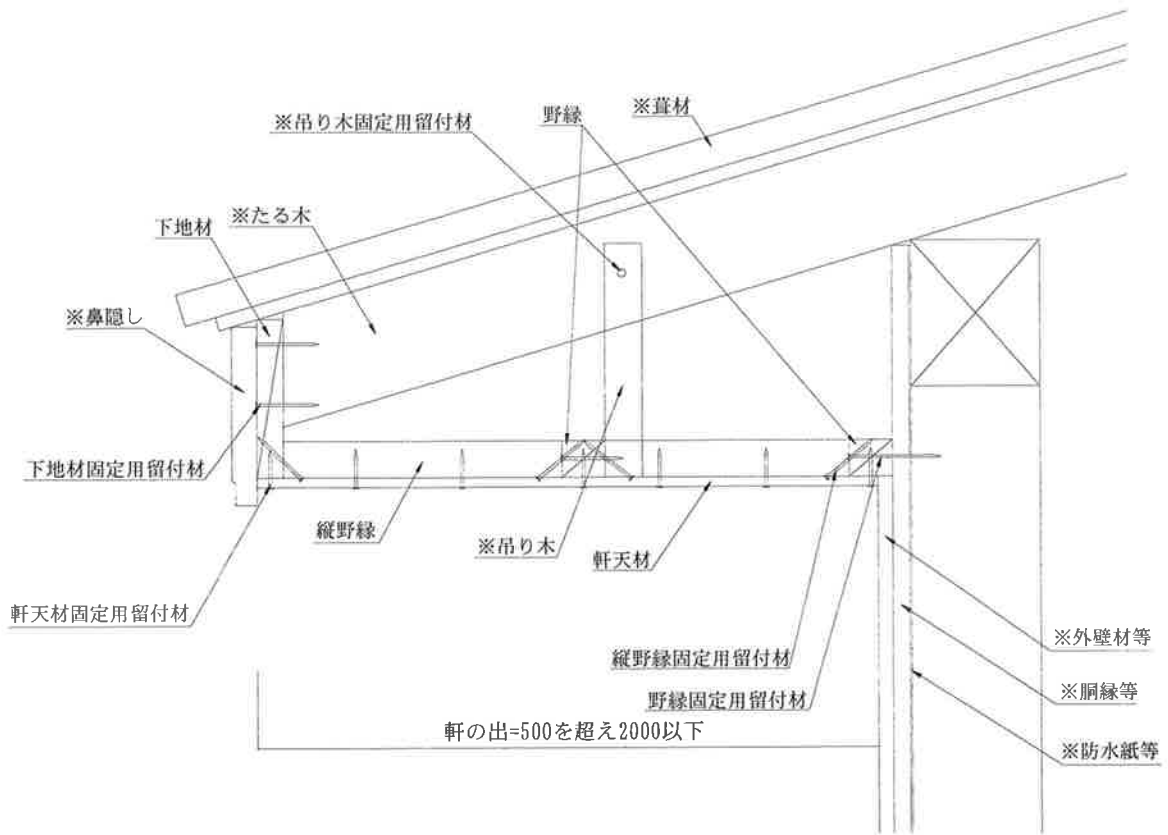
※評価対象外

軒の出=500を超え2000以下

透視図（水平仕様）

軒先野縁なしの場合

図 2 3 構造説明図



軒の出=500を超え2000以下
断面図（水平仕様）
軒先野縁なしの場合

※評価対象外

図 2 4 構造説明図

軒天材表面形状

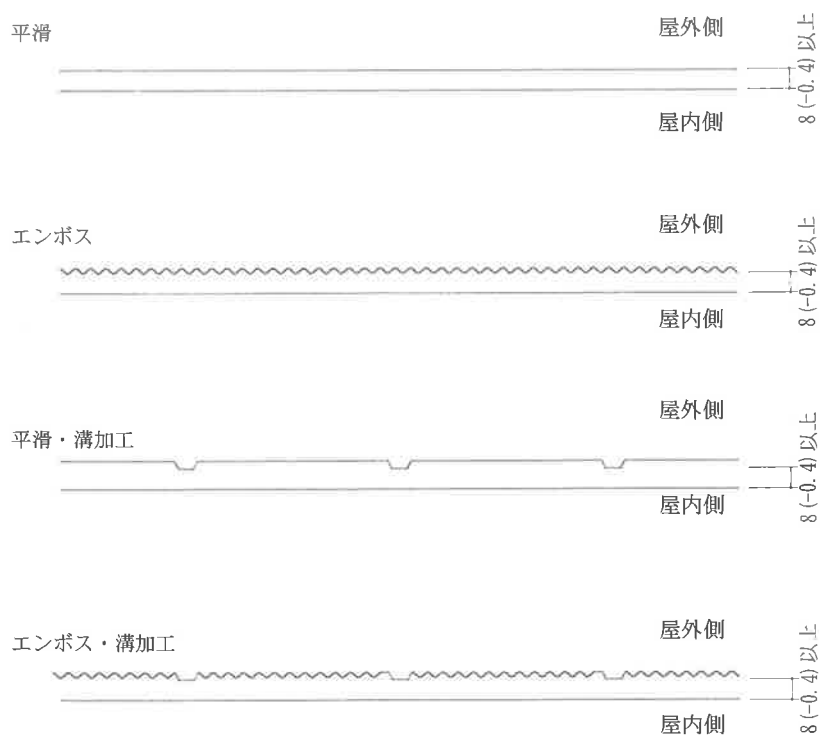
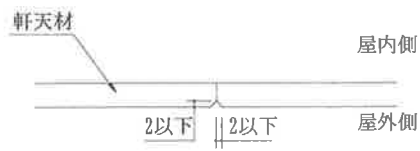
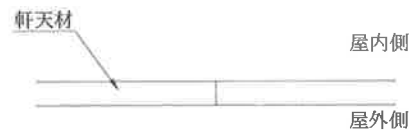


図 2 5 構造説明図

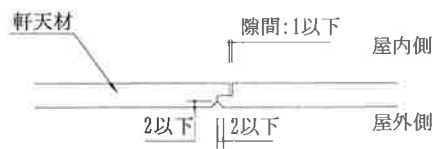
①面取突付け目地



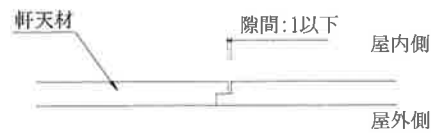
②突付け目地



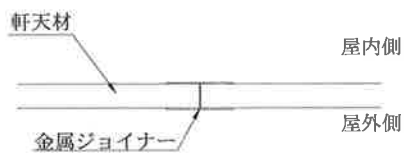
③面取合じゃくり目地



④合じゃくり目地



⑤金属ジョイナー目地 (H形ジョイナー)



⑤金属ジョイナー目地 (T形ジョイナー)

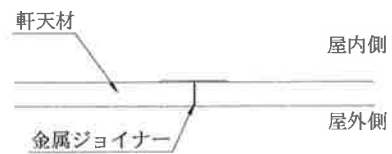


図 2 6 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 野縁の取付

野縁は、下地材、たる木、壁躯体等に野縁固定用留付材を用いて固定する。

(2) 縦野縁の取付

縦野縁は、野縁等に縦野縁固定用留付材を用いて固定する。

(3) 軒天材の取付

軒天材は、野縁等に軒天材固定用留付材で固定する。

(4) 目地部の処理

目地部の処理は、面取突付け目地、突付け目地、面取合いじゃくり目地、合いじゃくり又は金属ジョイナー目地とする。

※留意事項

・ 保管に関する事項

保管の際は、水や湿気を避け平らな所に積み重ねる。

・ 運搬に関する事項

持ち運ぶ際は、面を垂直に持ち、特に角部に衝撃を与えたり、面に傷を付けないように注意する。